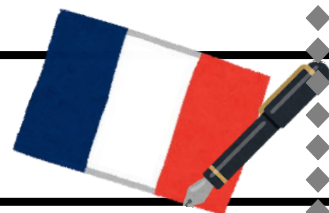


フランス便り

～2019年6月～



【はじめに】

6月下旬に熱波が到来したフランスはととても暑い日が続きました。私の住んでいるストラスブールでも6月30日に気温が40°Cに到達しました。(ストラスブールの緯度は北海道と同じくらいに位置しています) 気温が40°Cにもなれば日本では“外出を控えて部屋で過ごそう！”となりますが、ここフランスではそうはいきません。なぜなら、フランスのほとんどの家にはエアコンがないからです。日本で暮らしてきた私には衝撃的な事実でした。そのためフランスではエアコン設備のある公共施設やショッピングモール、映画館へ涼しさを求めて外出します。今回の暑さはフランス人にとっても異常気象のようで、トラムやバスは無料になりました。また、語学学校でもエアコンがない教室からエアコンのついている教室へ移動しました。異常気象と関係あるのか不明ですが、6月30日から7月3日までの4日間は映画が“4€で見られる“という映画好きには嬉しいお祭りもありました。

私は普段、自分の部屋でくつろぐことが好きですが、さすがにエアコンの無い午後の部屋は暑いので友達と外出することが多くなりました。昼間はまだ外出して避難することが出来るのですが、夜間はそうはいかず、窓を開けても寝苦しくて大変でした。そのため、先日悩んだ末、扇風機を購入しました！ストラスブールは日本より湿度が低く大体50%いかないなので、部屋に扇風機が来てからはかなり快適になりました。今回気温が40°Cに達したストラスブールは暑かったですが、普段の気温は30°Cいかない位です。夜も、昼との温度差が大きいので困るくらい暑くはありません。

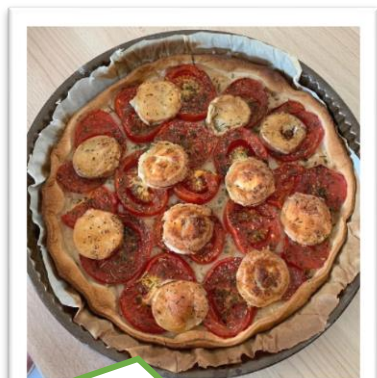
これから夏に向けてまた暑くなってきますが、扇風機とともにエアコンの無いフランスの夏を頑張っ乗り越えようと思います。



【持ち寄りパーティー】

6月は先生の提案で授業後に持ち寄りパーティーをしました。私は今回「鶏の照り焼き」を作っていました。みりんなど、フランスにはない調味料もありますが、醤油はスーパーのアジア食品コーナーに置いてあるので意外とどこでも手に入ります。(味噌や酢、海苔なども高いですが売っています)

私の「鶏の照り焼き」は見た目が黒っぽかったので最初は「それ何？」と警戒されていましたが、口にあってはらしくみんなに好評で、たくさん持っていきましたが全部なくなりました。フランス人の先生は「日本の料理は箸で食べなきゃ！」といい、みんな分の箸を家から持ってきてくれました。(フランスに来てから知りましたが、自分の箸を持っている人がわりと多く、日本、中国、韓国のレストランに行くとスプーンやフォークも置いてありますが、大半の人があえて箸で頑張っています。) 他には、蒸かしたキャッサバ芋やジャガイモのサラダ(マヨネーズ味でポテトサラダとよく似ていました)、バゲットやチーズ、ハムなどいろいろなものが並びました。フランス人の先生が作ってくれたのは「トマトとヤギのチーズのタルト」でした。実は、私はヤギのチーズが苦手です。フランスに来てからヤギのチーズに初挑戦し、いろいろ買って食べてみたのですがどのチーズもヤギ臭が強烈で目をつむるとヤギの大群に囲まれている



先生が作ってくれた
トマトとヤギのチーズのタルト

感じがしました。

先生に「ヤギのチーズ食べられる？」と聞かれ、あのヤギ臭を思い出しましたが、せっかくの先生の料理なのでもう一度チャレンジすることにしました。食べてみると私が食べた時ほどヤギの匂いが強くなく、トマトとの相性もばっちりです。ヤギのチーズが癖になる理由が分かった気がしました。

この持ち寄りパーティーでは他の国の文化を食べ物で体験することが出来ました。また、フランス人が普段どんな風にバゲットを食べているのか、どのチーズがバゲットに合うか、などいろいろ食べ物の情報交換ができました。

【引っ越し】

私が留学してから住んできた寮が改装工事をするため、6月に引っ越しをしました。前の寮から100mくらい離れた場所に引っ越し先の寮があります。部屋は4階になりました。引っ越し時の荷物移動は全て徒歩のうえ、当日はエレベーターが使用できず、4階までの上り下りでかなり疲れました。

前の部屋は水色が基調の部屋でしたが、今回は机や棚などが木製の温かみのあるアンティークな感じの部屋になりました。部屋は狭くなりましたが、窓が西向きから南向きが変わったため朝は日が差し込み午後は涼しく快適です。水回りは前の部屋と同じですが、シャワーカーテンが水玉模様で可愛くなっていました。この建物の1階にはレストラン兼調理場と受付、共同のテレビルームがあり、地下には洗濯室や多目的室、ごみ捨て場があります。全体的に満足していますが、2つ不満があります。1つ目は共同キッチンの使用時間が決まっていることです。前の寮は好きな時に料理が出来ましたが、この寮はレストランの中に共同キッチンがあるためレストランが開いているときしか使うことが出来ません。平日は7:30~20:30までやっているのですが、土曜日と日曜日は寮の職員も休みでいないためレストランも開いておらず料理が出来ません。2つ目は冷蔵庫が前回の半分の大きさになったことです。冷凍庫もついていますが、小さすぎて全く役に立ちませんし、鍋は一つしか入りません。受付に前の部屋の冷蔵庫と変えて欲しいと2回頼みましたが、できないそうでこの小さい冷蔵庫と残り2か月一緒に過ごすことになりました。無念です。(1回目は担当の人に聞いておくといわれたのですが、1週間経っても返事がこないで聞きに行ったところ別の人に「聞いてないわね」と言われました。フランスあるあるです)



部屋の中はこういう感じです。ベッドの大きさは変わりませんが、机やクローゼット、棚は前の部屋より小さくなりました。窓は大きくなりました。



例の冷蔵庫です

【La Fête de la Musique】

La Fête de la Musique は音楽祭という意味です。フランスでは毎年夏至の日（今年は6月21日）に音楽祭が行われます。フランスは日本よりも緯度が高いため日没の時間が遅く21時半ごろまで明るく、音楽祭も0時過ぎまで行われました。

この日はストラスブール市内のたくさんの場所でいろいろな音楽を楽しむことが出来ます。(HPには17ヶ

所の会場が載っていました) また、一般市民も道端で楽器を演奏したり、歌を歌っているため、ほぼ 50m 間隔で違う音楽に触れることが出来ます。そして食べ物や飲み物を売っている屋台も所々にありました。屋台ではアイスクリームやソーセージ、ホットドック、お酒(ビール、ワイン、カクテルなど)、綿菓子、ポテトなどが売られていました。

日本と違うなと感じたところは観客も積極的に音楽に参加しているところです。演奏している音楽に合わせてみんながリズムをとったり、手を叩いて参加しています。中でも一番驚いたのは、音楽に合わせて即興ダンス大会が始まったことです。最初はリズムに乗っているだけの人も盛り上がってくるとその場で踊り始める人が出てきます。すると周りの人も踊り始め、最後にはダンスの輪ができます。みんなでダンスをするときもあれば、1人ずつ順番にダンスを披露する人もいます。また、演奏者もダンスしている人に合わせてアレンジを加え始めたり一緒に踊りだしたり、演奏している人と観客が一体になって音楽を楽しむ感じがすごく良かったです。

ストラスブール市内の中心にあるクレペール広場はメイン会場になっており、特に大きいステージが用意されているのですが、21時半からはなんと Karaoke (カラオケ) が始まりました。といっても、日本のお祭りでイメージするカラオケ大会ではなく、巨大なスクリーンに過去のライブ映像と歌詞が映し出され、広場にいる人全員で歌を歌います。もちろん踊りだす人もおりとても楽しかったです。



メイン会場のクレペール広場。
大きいステージとスクリーンがあります。



道の真ん中での打楽器の演奏



突然始まったダンス大会

【おわりに】

6月は私の誕生日がありました。誕生日の日は仲の良い友達とオレンジリー公園というストラスブール市内でも大きな公園に行ってピクニックパーティーをしました。この公園はみんなのお気に入りの場所で天気の良い日は授業後にサンドイッチを買って青空の下で一緒に宿題をしています。誕生日の日もとても天気良かったのでたくさんの人が公園に来ていました。オレンジリー公園には大きな池があり、よくカモや白鳥の親子がやってきます。トルコの友達が出来てくれたトルコ料理やワイン、ケーキを食べながらたくさんお話ししたり、芝生の上で一緒にお昼寝をしたりしてとても楽しかったです。フランスでの良い思い出になりました!

長かった私の留学もあと2か月を切りました。私はずっとホームシックで早く日本に帰りたいと思っていましたが、一緒に授業を受けたり、こうやってよく遊びに行ったりしている友達と離れるのがとても寂しいです。語学学校もあと1か月です。私は先日先生に頼んで少人数のクラスに変えてもらいました。私以外みんな男性のクラスですが、負けじと日々頑張っています! 8月には友達と約1週間のパリ旅行に行くのでまたフランス便りに書きたいと思います。楽しみにしててください。それでは!

